社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

平成30年08月28日

計画の名称	駐留軍用地返還跡地利用による活力創出と安全・安心な生活を支える基盤整備													
計画の期間	平成２９年度　～　平成３１年度　(3年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	北中城村													
計画の目標	返還された駐留軍用地（泡瀬ゴルフ場跡地）において、土地区画整理事業による計画的なまちづくりを推進するとともに、雇用の場や地域の活力を創出し、活気ある地域を形成する。また、課題となっている地域の人々の安全・安心な生活を支える基盤整備を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	592	A	592	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H30末)	(H31末)
1	地区内の雇用者人数の増加			
	働く場の創出により雇用人数を増やす。地区内への調査を行う。	4000人	人	4200人
2	道路の整備により、周辺へ住宅を誘導を行うことによる定住人口の増加			
	土地区画整理地区内の居住人口を調査する。	0人	人	900人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H29	H30	H31	R02	R03	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	沖縄	北中城村	間接	北中城村アワセ土地区画整理組合	区画	改築	アワセ土地区画整理事業	区画整理　A=47.9ha	北中城村	■	■	■			592	1.4	―
											小計						592		
											合計						592		

案件番号：

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額（a）	420	345	229	54	321
計画別流用増△減額（b）	0	0	0	0	0
交付額（c=a+b）	420	345	229	54	321
前年度からの繰越額（d）	319	237	154	0	0
支払済額（e）	502	428	383	54	321
翌年度繰越額（f）	237	154	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

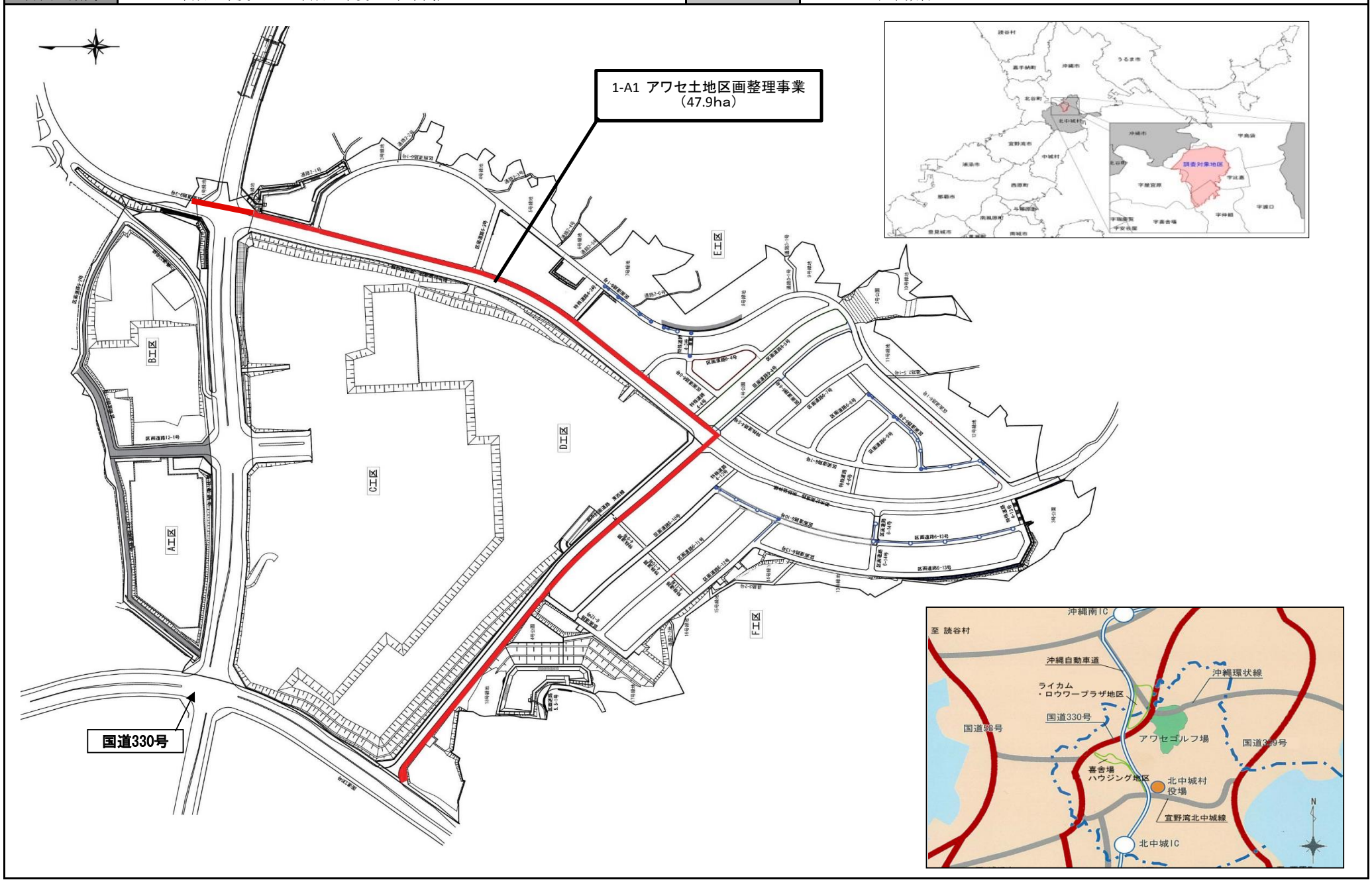
案件番号：

事前評価チェックシート

計画の名称： 駐留軍用地返還跡地利用による活力創出と安全・安心な生活を支える基盤整備

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①上位計画等と整合性	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II.　計画の効果・効率性 ③整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II.　計画の効果・効率性 ④定量的指標の明瞭性	○
II.　計画の効果・効率性 ⑤目標と事業内容の整合性	○
II.　計画の効果・効率性 ⑥事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 ⑦円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 ⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

案件番号：

位置図（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	駐留軍用地返還跡地利用による活力創出と安全・安心な生活を支える基盤整備		
計画の期間	平成29年度　～　平成31年度　（3年間）	交付対象	北中城村